

切磋琢磨Ⅱ

校長室だより

R2.2.28 第42号

全校朝会, 「主体的な学び」の実践あり

今年度最後の全校朝会

一月から、子どもたちで考えて行動する機会を意図的に増やしています。全校朝会では、子どもたちで考えて入場整列完了。このミッションは3回とも、難なくクリアしてしまいました。

今回は、「6年2組お笑い部」が、全校児童に向けて「本当の友だちとは？」のテーマでコントを披露しました。きっかけは、6年生がいつも職員室で楽しいパフォーマンスを見せてくれることでした。彼らの生き生きした姿を見て、ぜひ全校児童の前でも、その表現力を発揮してほしいという校長の願いを伝えたところ、前向きに受け止めて、実現となりました。



この企画は、片寄伊織さん、川崎拓貴さん、平尾僚都さんの三人を中心に進みました。そして、みんなで協力してシナリオづくりや舞台配置、衣装まで考えたようです。当日の朝まで、準備や調整に時間をかけました。発表では、クラスメートも協力をして、ナレーターや級友役、暗幕の開閉等を手伝っていました。人前で発表することだけでも、とても緊張するものですが、彼らは堂々とミュージカル仕立てのコントを披露しました。全校児童もとても楽しそうに見入っていました。この空気感は、二川で初めて感じた新鮮なものでした。すてきな発表をしてくれて、ありがとう。担任の水流先生も温かく見守り、白井&貴人先生サポートも素敵でした。〈6年2組の素敵な仲間たち〉



一年間、全校朝会で伝えてきた「感じる」「考える」「気づく」「工夫する…」を自ら実践し、最後の全校朝会でその姿を見せてくれた6年生。私の願いがコントという形で実現されたことに、とても感動した瞬間でした。この6年生に続くパフォーマーはだあれ？

長縄集会表彰式

2月初めに行われた「長縄集会」の表彰式を全校朝会后に行いました。二川ギネスに輝いた6年2組、2年1組をはじめとして、7クラスの学級代表が、表彰を受けました。



全校朝会での話「ことばはもう一人の自分」

最後の「こ」の話。金子みずぶさんの詩を紹介しながら、「ことば=こたま」について話しました。

こたまでしようか 金子みずぶ

「あそぼう」っていうと「あそぼう」っていう

「ばか」っていうと「ばか」っていう

「もうあそばない」っていうと「あそばない」っていう

そうしてあとでさみしくなって

「ごめんね」っていうと「ごめんね」っていう

こたまでしようか いいえ だれでも…

やさしい言葉をかければ、相手からもやさしい言葉が返ってきます。人を悲しませる、傷つける言葉をいうと、やはり同じような冷たい言葉が返ってきます。「ことば」は「こたま」です。もう一人の自分です。

あなたは、日ごろどんな言葉を使っていますか？今朝、友だちにどんな言葉で話しかけましたか？たったひとことが、人を温かくしたり、苦しめたりします。皆さんには、「だれもがやさしく、温かくなれる言葉」をたくさん使ってほしいと願います。そして、すてきな言葉で心を伝え、この二川小が「やさしい花」で満開の学校になるといいなあ。